

No.255

1985年7月 第1号発行

2006 September

平成18年

9月

# 波紋



PUBUSHER: 森松株式会社  
EDITOR: 梅田文康

第14回

## 「元気が出る森松展」

日時…平成18年10月5日(木) 9:00~17:00  
6日(金) 9:00~17:00

場所…森松株式会社本社5Fホール

※上記時間帯以外にご来場の方は、担当営業マンまでご連絡下さい。ご案内させていただきます。

THE 50th ANNIVERSARY

第14回 元気が出る森松展

50

情報 最前線

~50執念 こだわりの新素材~

あかげさまで 50周年

2006/10/5.6

www.morimatsu.net

### 出展企業

アキレス(株)・(株)アルボース・出光ユニテック(株)・オカモト(株)・エコデザイン・エドカ工業(株)・エヌ・ビーシー(株)・(株)カツロン・金子商店・カンボウプラス(株)・グリーンプラ研究会・(株)コーハン・三協化成(株)・サンビック(株)・シーアイ化成(株)・シーダム(株)・四川義信公司・(株)生産日本社・積水成型工業(株)・ダイソーエムイー(株)・大同紙工印刷(株)・ダイニック(株)・龍田化学(株)・(株)トラスト・(株)トローワ・日本ウェーブブロック(株)・(株)プラスコーポレイション・丸喜化学工業(株)・三菱化学MKV(株)・三菱商事(株)・明和グラビア(株)・菱興プラスチック(株)

(敬称は略させていただきます)

森松展実行委員長:安井浩二 副委員長:岩間正美

### 『文房具の先にあるもの』

社長 森 直樹



先日大阪にて文紙メッセ2006を見学してきました。文具メーカー各社が出展するこの展示会、各メーカー新製品を出展しているわけですが、機能プラスチックの製品が多くなってきたのでは無いかと思います。そしてただ切るためのはさみ、穴を開けるためのパンチ、だけではなくそれにプラス見た目の良さ、使いやすさを重視したものを出すことに焦点が置かれるわけです、本来ならばひとつの機能を満たしていれば十分だった文具も、さらにその使いやすさが選定のひとつの大きな基準になりつつあるでしょう。言い換えるならば最低限の機能のものならば、価格帯は平均のものに近づき、より見た目が良い、ないしはよりその機能の度合いがほかよりも優れているといったことが、その商品の付加価値といったことになりそうです。値段もより高いものとなるでしょう。

昨今、紙と鉛筆の書きの使用頻度は減りましたが、いまだに書きやすさや、インクの機能を高めた商品が市場に出ている状況を考えて、デジタルとアナログの併用、共存が今後の文具の姿でしょう。バッテリーや環境を気にせず、いつでもでも使用できるのはアナログなものが断然使いやすいですし、修正や整理のしやすさではデジタルなものも便利です。

アナログ、デジタルどちらかがいい、のではなく、どちらも使用者がお互いの長所を生かして新たな製品を生み出していくのではないのでしょうか。

今後の文具も非常に楽しみです。

naoki@morimatsu.net

2006年

9月

の予定

30日(土)	23日(土)	22日(金)	21日(木)	18日(月)	16日(土)	14日(木)	9日(土)	8日(金)	5日(火)	2日(土)
第4土曜日休み	秋分の日 生産会議 18時~	(顧客満足)向上会議 15時10分~ 経営会議 13時30分~	編集会議 17時30分~	敬老の日	第3土曜日休み 方 振華さん誕生日	安井浩二さん誕生日	第2土曜日休み 王 真昶さん誕生日	志水満さん誕生日	ギフトショー(東京ビッグサイト)【5~8日まで】	第1土曜日休み



## パートさんコーナー

### 「クラス会」



坂井田時子 (製造部)

昨年、天候にも恵まれ46年目のクラス会に行きました。

先生を囲んで19名の出席があり、これも世話人一同が、がんばってくれたからこそ集まれた事だと思いました。

先生が言うには、先生の奥さんは、なんだか2~3日前からソワソワして落ち着きがなかったようです。

そして、先生から昔の懐かしいお話をして頂きました。先生は昔、生徒を6人連れて自転車で

桜の苗木を買いに行き行って植えたそうです。その桜の苗木は、先生の1ヶ月の給料を全部使ったということ、初めて聞きました。先生は、その桜が満開に咲いていたのを見て、感無量で胸がいっぱいになったそうです。私も学校へ見に行きたいと思いました。

短い時間ではありましたが、中学校時代に戻り、楽しいひとときを過ごすことができました。

### 『太陽のうた』

加藤貴幸 (マッハ匠サークル)



皆さん(太陽のうた)という映画をご存知ですか?? 現在テレビドラマでも放送しています。

内容は、よくあるラブストーリーなのですが、内容とそれに合わせた音楽がとても素敵で感動しました。

大まかな内容を説明すると、ヒロイン(雨音薫)は学校に行けず、夜になると駅前の広場で歌い続ける毎日。

彼女は太陽の光にあたれないXP(色素性乾皮症)という病気を抱えていたのです。昼と夜の逆転した孤独な毎日、歌うことでしか生きていくことを実感できません。

そんな彼女にも歌う事以外で生きがいを見つけてあげることができました。それは、彼女が眠りにつく明け方に、サーフィンに向かう孝治という青年を部屋の窓から眺めることでした。

太陽の下では決して出会う事のない一人でしたが、運命は二人を引き寄せます。初めてのキス、初めての恋、普通の幸せを夢見るようになる薫でしたが、自分の残された時間が少なくなっていることを知ります。

“歌うことは生きていく証” 彼女の歌に揺さぶられた孝治は彼女にある約束をします。

私は映画が好きで今年に入って20作ぐらい見ましたが、その中でも一番付けても良いと思える映画でした。ヒロインの最後まで生き続ける姿勢に感動して泣きました。

皆さんもどんな映画でも良いのでたまには見に行くのはどうですか??



# 永年会主催 イカ釣り



**日時**  
8月5日  
土曜日

**場所**  
福井県  
旧小浜港



毎年恒例の永年会主催イカ釣りに出かけました。  
大人9名、子供1名が参加しました。昨年は大漁でしたので、今年も当然のごとく大漁を期待してイカ釣りに望みました…が、イカはどこへ行ったのか…。まったくあがらず、私は1杯釣るのがやっと…しかも小さいときたもんだ!!!!



反対の右舷では、子供が6杯吊り上げ、大人顔負けの釣り頭でした。  
今回の成果平均2杯。来年は平均20杯が目標です。



松井宣和 (セレクトⅥ・サークル)

## 『忘れ去る事』

黒松康郎 (マッハ匠・サークル)



最近の仕事の内容が、カレンダーとか冬の関連商品が多くこの暑い時期に全く季節感がないように感じる。  
仕事でこんな内容であるからなのか知らないが、子供の頃感じた四季感が本当になくなっていくように思う。クリスマスもお正月も、お雛さん、こいのぼりも見かけなくなるとな。気がついたら1年が終わって、いたいこの1年は何をやったのだらうと思いついたら1年が過ぎていく。どうしたら充実した1年だったと言えるのだろうか。  
ゆづりと感じる事が出来ない今の情報があふれかえっている現代、それにいついかなと仕事がついてこない、人間はもう記憶しなくても、携帯電話やパソコンに入力すれば覚えてくれる時代、記憶力はもういらぬ、どうやって要領よく入力してあげるかといふことになる、と言いつつ切ついてもいいものかな。礼儀感や感性がどこまで必要なのか。当たり前や人間なまやから、考える力、感情があるから、でもそのうち、より立派な携帯電話たちが現れて感情を持ち人間を支配したりして…。  
スポーツもそのうち画像の中だけで、実際人間がするところではなくなったりしないだろうか。子供の頃の野球が懐かしくなってきた。  
毎日わけのわからない事故、事件を報じるマコト。  
原油の高騰、ガソリンの値上げ原因はともかく結果として報じている事はよいと思う。こんな内容は新たなビジネスチャンスが生まれると前向きに考えられる。  
公園で遊んでいる子供に危害を加える、唾液を飲ませるなんていうわけの判らない事が報じられると、子供たち自身の視野を狭めさせてしまう。1人の親として子供はげうやうや育てたいのだから不安になる。昔はそんな事を言つて計算が速くなるし頭がよくなるなんて親に言われたが、自分の子供にはそんな事を言に行かした方がいいのかな。少し今悩んでいます。

## 『健康は自分持ち』

伊東郁二 (セレクトⅦ・サークル)



40歳を境に、「健康」について意識する様になりました。日々の生活スタイルは、外食が主流になっていたので、「食べ物」から意識して気を付けておりました。  
以前、大阪で安井君と呑んだことがあります。会社も年齢も同じですが、体系は全く異なります。注文して運ばれてくる料理がテーブルの上に。シヤモ、冷や奴煮物などの「あつさり系」とコロッケ、ピザ、エビフライ、揚げ物などの「ドロドロ系」とが綺麗に線引きされて並んだのを見ました。30歳代と比べると、食べる量も減り豆腐類や野菜サラダなど、なるべくカロリーの少ない「あつさり系」を意識しながら変わりました。  
半年前からは、「ヤングマン」・「YMCAB」で有名な「西條秀樹」が復帰後に愛飲している「フライング」を飲んで、1箱に「10ml」が30本入って1万円ですが、1日に2〜4本を飲むことにより、「血液」をサラサラにする効果があるそうです。確かに、酷かった「静脈瘤」がなくなり、血液検査の結果も良好でした。効果は絶大だと自負しています。暫く続けたいと思つています。夫を愛する妻は、「6箱で3割引になるキャンペーン」でまとめ買いをして、食費を削つても購入してくれました。  
今から「お金が掛かる」と言われている年齢の子供が、高校生を筆頭に3人おられます。まだまだ、最低10年は、15kgある大きな砲を持って頑張りなければなりません。今まで以上に、食生活を意識して健康補助剤や適度な運動をしながら、健康維持に努めたいと思つています。自分の中では、生活リズムになつている「出張」が「歩く」意味で健康につながっている気がします。名古屋に居る時は歩きませんが、出張中は大きな砲を持って1万歩くらいは歩いていると思つています。「健康は自分持ち」ですから、自分なりに出来ることから継続していつまでも健康でいたいと思つています。  
\*「フライング」を安く購入できる方がみえれば是非紹介ください。

## 『贅沢な悩み』

長崎 修 (セレクトⅦ・サークル)



新婚旅行にて知り合った友人と、毎年、桃の時期(友人と和歌山の桃の産地。美味しい桃を毎年贈ってもらっています)になると、バツ子計画(家庭内の味方づくり)について、互いに確認のやりとりをしています。バツ子計画に失敗した友人の言葉に対して、私の現状報告をすると、アハハと笑われ、大変だねとの言葉を頂く。その笑われた内容とは下記の通りです。  
私には今ちょうどした贅沢な悩みがあります。それは夜寝る頃になると、娘達が、どちがお父さんの隣りで寝るか喧嘩を始める事なのです。私が2人の真中で寝ればいいようなものなのですが、なぜか私の左側でないと駄目らしく、たいてい下の子が「フーン!お父さんなんて大嫌い」とスネて、妻の隣に嫌々そうに寝る事になるのですが、夜中に妻が仕事に出掛けた後(目覚まし時計の音の後)、時々下の子が寝ぼけているのか、起きてしまうのです。さて、これが大変。時にはいきなり私の頭の近くに正座して「お父さんはいも碧ぼかりで、どうせ私のことなんてどうでもいいんだもん」と泣きながら私の頭を叩いてくるのです。「そんなことないよ」と言っても相手はスネていることもあり、なだめるのに「時間もかかることも…。やうと寝れると思つていると、いつのまにか朝になつて…。ただ、きつと何年か先には娘と二階に寝るなんてできなくなつてしまつたら、やはり贅沢な悩みでしょうか。ああ、親はかなのだなあと実感してしまつて毎朝です。  
皆さんは、子に対する接し方はどのようにされていますか?

## 『小さな逃亡』

堀江辰造 (マッハ匠・サークル)



「夏休み」と聞きますとわくわくしてきます。少なくとも子供のころは絶対でした。時間という概念は当然登場してはいたけれど、今ほどの毒は持つていませんでした。不安も倦怠も、まだ顔を見せてはいませんでした。  
ただ、こんな思い出があります。ある年の夏の午後でした。いつもの遊び仲間を川へ誘おうと、私は路地に入つていきました。すると、頭の上から友人の声がしました。教科書を一心腐乱になつて音読している声でした。窓の下にいる私にはまったく気づかず、友達は音読を続けました。明るく、堂々とした声でした。それを聞いているうちに、飛び跳ねていた遊び気分はすっかり萎えてしまいました。かわつて何やら底深い不安と、あせりがこみ上げてきました。どんなものか形もわかりませんが、その底深さに圧倒された記憶があります。  
いてもたつてもいられなくなり、私は気づかれないようにその場を去りました。ドンという一撃が腹にきました。持っていた遊び道具をさげて路地を出ると、小走りに走りまわりました。逃走でした。

